記者発表資料

平成２９年２月１５日
国土交通省　東北地方整備局
新庄河川事務所
大蔵村

大蔵村烏川地区で「まるごとまちごとハザードマップ」を作成

～住民主体のまちあるきで地域の安全・安心を守る～

大蔵村烏川自治会と大蔵村・国土交通省新庄河川事務所は、「最上川中流大規模氾濫時の減災対策協議会」における取組の一つとして、『まるごとまちごとハザードマップ』を作成します。

本マップは、「平成 29 年 1 月 20 日に公表した洪水浸水想定区域図（想定最大規模洪水）」及び「過去の水災害浸水区域」を鑑み、地区住民の安全・安心を守るため『住民主体によるソフト対策』として活用します。

2 月 19 日（日）は、「2 回の会合結果によるマップの確認」、「洪水時の避難・浸水深等の標識設置箇所の確認」を、実際にまちを歩きながら、全戸配布するハザードマップ及び標識内容、設置位置・設置時期を確認します。

１．開催日時：平成２９年２月１９日（日）　１０：００～１２：００

２．集合場所：大蔵村 烏川地区公民館（大蔵村大字赤松964－7）

３．参加人員：大蔵村烏川地区町内会・大蔵村・新庄河川事務所

＜発表記者会：新庄新聞放送記者会＞

問い合わせ先
新庄河川事務所　電話0233-22-0262（調査課） 副所長（技術河川担当）　佐藤（さとう）　要（かなめ）　（内線204） 建設専門官　小野（おの）　輝朗（てるあき）　（内線401）